



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

## 東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、  
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第2号

2026年5月13日

編集 緒方 なな  
東浦町教育委員会  
SPコーディネーター

### “初めて”の緊張感

今年度から新たに8名がウィークリーSPとして加わってくれました。とても嬉しいです。どのSPさんも、SP活動の“初日”があります。SP活動の初日や最初の頃は、入った学級の子どもたちに対して自己紹介の機会をいただくことも多いかと思います。ウィークリーSP活動の初日、初めて子どもたちにする自己紹介、とても緊張しますよね。先日、ニュースアプリを見ている時に、こんな記事を読みました。

先日、保育園の懇談会に出席した時の話です。担任の先生から、「まずは順番に自己紹介をお願いします！お子様のすごいところも教えてください。」「では次に、今日子どもたちが歌った歌と一緒に歌ってみましょう。お家でも一緒に歌ってあげてくださいね。」「来月はこんな体操をします。お母さんたちもぜひ今日覚えて帰ってください！」とフルコース……。懇談会が終わる頃には疲労困憊でした。「緊張もしたし、懇談会がこんなに大変だなんて……。もう来たくない。」と思っていたら、先生からこんなお話がありました。「本日はありがとうございました。きっと今、心身ともとても疲れていらっしゃると思います。きっと、4月当初の子どもたちも今日みなさんが感じられた緊張感や疲れをたくさん感じるようになると思います。どうか帰宅後はお家で温かく迎えて、ゆっくり過ごさせてあげてください。」

我が家も今年、娘が年少組に入園しました。毎日「行きたくない」と未だに言っていて、こちらもどうしたものかと頭を悩ませています。この記事を読んで「そうか。彼女にとっては毎日初めて尽くしの生活をしているのか。」とハッと気づかされました。みなさんが感じる“初日の緊張感”“初めてのことに對するドキドキ感”そして“終わった後の疲労感”。これらを忘れずにいてもらえると、子どもたちを見る目やかける言葉も違って来るかもしれません。とは言え、初めてのSP活動は緊張しますよね！大丈夫です。どのSPさんも、2回目3回目……と活動を重ねるごとに、どんどん学校に溶け込んでいっています。生き生きと子どもたちに関わってくれるようになる姿を毎年見えています。ゆっくり、少しずつで構いません。積極的に子どもたちや先生と関わり、有意義な経験をしてもらえたらと思います。



#### ←片葩小 鷹羽 SP

2回目のSP活動でした。対応力抜群！2回目と思えないほどの安定感でした。2人の児童を重点的に支援していましたが、それぞれをバランスよく気にかけて声をかけていました。明るく元気な鷹羽SP。すでに先生にもしっかり名前を覚えてもらっていました。

#### 片葩小 稲垣 SP→

昨年度から東浦中で活動を始め、今年度からは片葩小と東浦中の2校で活動しています。高学年の児童の支援についていたからか、“見守る”ことをとても意識してくれているなあと感じました。声をかけるか、見守るか……その塩梅が難しいですよ。両校でたくさんトライしてみてください！

